双塔

カトリック新潟教会
2025 年 3 月
No. 441

如月の望月のころ

主任司祭　田　中　丈　夫

願はくは 花の下にて 春死なむ その如月（きさらぎ）の 望月(もちづき）のころ

これは西行法師（1118～1190.3.31）の有名な歌です。いつだったのだろう。この歌をはじめて知った時、鳥肌が立つほど感動したことを覚えています。頭で理解した、ということではなくて、歌で表現されている情景がありありと浮かんで来たのです。この歌は、幼い頃から知っていた光景を浮かび上がらせ、いつか辿りつきたいと望んで来た「時」と「場」を示しているようにも思います。誤解を恐れずに言えば、わたしの中でのその情景は永遠のいのちとつながっているように思います。「如月の望月のころ」とは旧暦の 2 月 15 日の頃。今年の「如月の望月のころ」は 3 月 14 日の頃。新潟の桜はつぼみが美しい頃でしょう。

次のような和歌もあります。

「花をのみ　待つらむひとに　山里の　雪間の草の　春をみせばや」

「『花が咲くことばかりを待ち望む人。そんな人たちに、山里につもる雪の間から芽吹く若草の、そこにすでにある「春」というものを見せたいものだなぁ。』そう詠（うた）ったのは鎌倉時代初期に活躍した歌人、藤原家隆（1158～1237）でした。家隆は『新古今和歌集』の撰者のひとりとして生涯でたくさんの和歌を詠んだことでも有名でしたが、そのなかでもこの一首を見出し、自身の茶の湯の理想としたのが千利休です。」と、根本知氏（2024 年　NHK 大河ドラマ「光る君へ」題字および書道指導を担当）が解説しています。

わたしは、厳しい冬の季節、深い雪の中に埋もれていても、創造主によって守られ、育まれるいのちのことを思い浮かべます。そのいのちは、美しく、力強く、尊く、かがやいています。

ところで、千利休には七哲といわれた弟子たちがいました。利休の没後七十年頃に書かれた『江岑夏書（こうしんげがき）』によれば、「利休七哲」は、高山右近、蒲生氏郷、細川忠興、柴山監物、瀬田掃部、牧村兵部、古田織部となっているとのこと。このうち、高山右近、蒲生氏郷はキリシタン大名として有名ですが、瀬田掃部、牧村兵部、古田織部にもキリシタン説があるとのことです。細川忠興の妻はガラシャ夫人です。

茶の湯ことは詳しくはないのですが、戦乱の世にあって、目に見えないいのちへ眼差しを向けるための「時」と「場」を大切にしていた武人たちがいたということに、心動かされます。

西行法師、藤原家隆、千利休は、創造主の永遠のいのちに眼差しを向けていて、創造主のいのちの美しさ、力強さ、尊さを表現した人たちなのではなかろうか。等と思いめぐらしています

2025 年 3 月 5 日は『灰の水曜日』です。この日から四旬節に入ります。四旬節は、創造主によって与えられたすべてのいのちの美しさ、力強さ、尊さに眼差しとこころを向け、そのいのちを大切にする期間と言えます。

インフォメーション!

●信徒のみなさんへの「お知らせ」の方法について（小教区評議会）

①センター掲示板おしらせに掲載しています（外壁ガラス掲示板）のでご覧ください。

②「おしらせ」のある方は、９時半主日ミサでのお知らせと掲示板の貼り出し、月刊双塔への掲載をお願いします。（広報部アドレス：soutou1656@gmail.com）

●入 門 講 座　主任司祭　田中神父にご相談ください。

●聖書勉強会　**日時**　毎週水曜日 午前 10 時～、午後７時～

会場　カトリックセンター研究室　　**指導**　田中神父

●信仰養成講座

日時　毎月第２土曜日 午前 10 時～　**会場**　カトリックセンター研究室　**指導**　田中神父

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会；野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定　３月 17 日(月)

時間　午前 11 時～　　**指導**　成井司教　　**会場**　新潟教会聖堂

●教会維持費などの献金について（小教区評議会）

献金袋の中にお知らせを入れました。掲示板にも掲示しますので、皆様ご覧ください。

献金袋が無い方は、聖堂維持費棚の右下に袋があります。各自でご記入の上、日曜日に中央柱の維持費入に入れてください。

●「異人池茶の間」 ～語らいの場～

センター１階の研究室にて。インスタントコーヒー、紅茶、日本茶をセルフサービスでのご提供、無料で楽しめます。ぜひお立ち寄り下さい。楽しいひとときを分かち合いましょう。

そよかぜ便り

●２月９日　洗礼入門式と堅信式

「顕著な大雪」情報が発令され、音もなく雪が降り積もった市内は銀世界となったが、当日は雪が止み、柔らかな日が差す聖堂で「入門式と堅信式」が行われた。堅信を受けたのは、５人。小・中・高校生と成人、出身地もフィリピン、ベトナム、日本など様々。洗礼入門式に臨んだ方は１人。洗礼式は 4 月 20 日の復活祭に行われる。司教の促しで、会衆者は人生の価値観をキリストにおく生き方に思いを新たにした。

ミサ後は、センター２Ｆで祝賀会が行われ、6 人の自己紹介や教区青年有志のギター伴奏による歌や田中神父のオカリナ演奏などで楽しんだ。総務部の人たちが、持ち寄りの食材で作ったハヤシライスはとても美味しかった。新たに教会の仲間が加わり、喜びと感謝のうちに司教による終わりの祝福を頂き閉会した。

2025 年３月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
2 日㈰	**年間第８主日**　・小教区評議会（9:30 ミサ後）　・英語ミサ（12:00） ・清掃日（センター、外のトイレ；英語ミサ後）
3 日㈪	・司祭静修（四旬節黙想会）～４日（★４日朝７時のミサはお休み）
5 日㈬	**灰の水曜日（大斎・小斎）**・ミサ、灰の式（10:00）　**四旬節愛の献金（～4/17）**
7 日㈮	・ミサ 10:00（初金）　・十字架の道行（10:00 ミサ後）
8 日㈯	・信仰養成講座（10:00 研究室）
9 日㈰	**四旬節第１主日**　・総務部会（9:30 ミサ後研究室）
14 日㈮	・十字架の道行（10:00 ミサ後）
16 日㈰	**四旬節第２主日**　・清掃日（聖堂、外のトイレ、センター；9:30 ミサ後） ・国際協力部会（9:30 ミサ後 事務室）　・広報部会（9:30 ミサ後） ・ベトナム語ミサ（13:00）
17 日㈪	**日本の信徒発見の聖母（祝）**
19 日㈬	**聖ヨセフ（祭）**　・ミサ（10:00）
21 日㈮	**性虐待被害者のための祈りと償いの日**　・十字架の道行（10:00 ミサ後）
22 日㈯	・四旬節黙想会（青山教会と合同）14:00～　於：新潟教会聖堂　講師：フック神父
23 日㈰	**四旬節第３主日**　・教会維持費の整理（9:30 ミサ後事務室）
24 日㈪	・町田神父叙階記念日
25 日㈫	**神のお告げ(祭)**　・ミサ（10:00）
28 日㈮	・十字架の道行（10:00 ミサ後）
30 日㈰	**四旬節第４主日**

※ ミサ時間

日曜日（7:00、9:30）　英語ミサ（第１日曜 12:00）　ベトナム語ミサ（第３日曜 12:00）
火曜～木曜、土曜（7:00）金曜（10:00）

★月曜日朝７時からのミサは、しばらくの間休止します。　★４日朝ミサはお休み
★朝ミサは休止になることもあります。ご確認の上ご参加ください。

月刊「双塔」毎月１回　最終日曜日発行　編集･発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部
カトリック新潟教会　〒951-8106　新潟市中央区東大畑通一番町 656
http://cathedral-niigata.jp/　TEL025-222-5024 ／FAX025-222-5054